

後発白内障に対するレーザー後嚢切開術 を受ける方に —説明と同意—

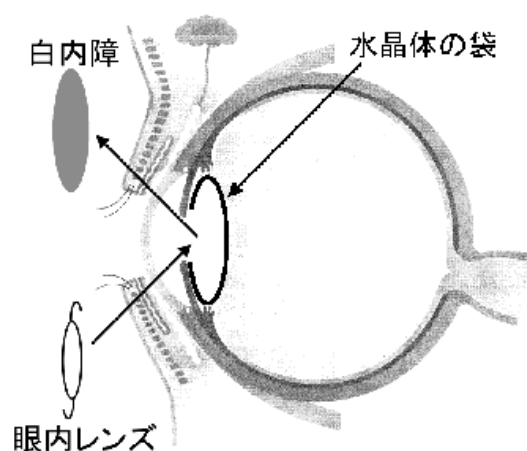
私たちはあなたの病気を治療するために下記の治療が必要と考えます。しかし検査・治療・手術など医療は本来不確実で危険性を伴うものです。治療を受けていただく前にその内容を十分に理解していただき納得した上でを受けていただくようお願いします。

1. あなたの病名（症候名）：後発白内障

2. 治療の名称：レーザー後嚢切開術

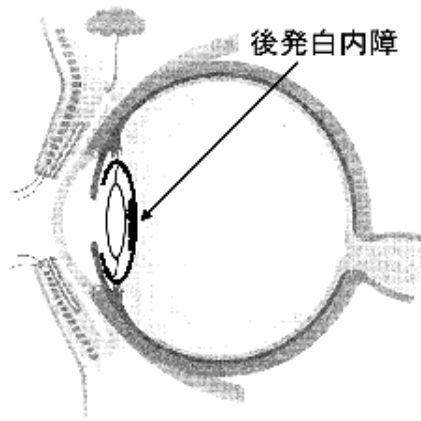
3. 後発白内障とは？

後発白内障は白内障の手術後、水晶体嚢（眼内レンズを固定している膜状の袋）が水晶体上皮細胞の増殖により混濁を起こす病気で、これにより霧視（かすんで見える）や視力低下が起こります。



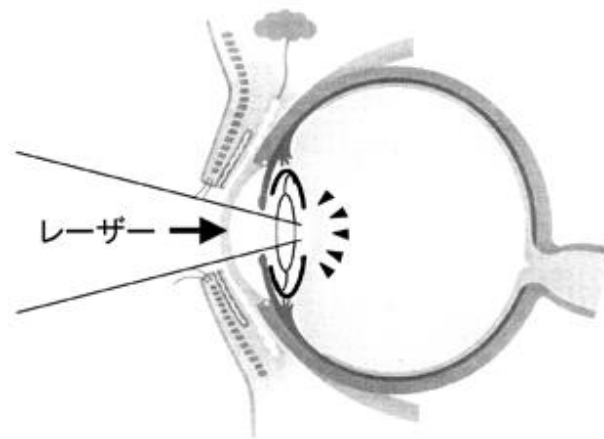
4. どのような場合にレーザー治療が必要になるのか？

後発白内障は、白内障の手術後には程度の差はあれ必ず起こります。濁りの程度が軽くて視力に影響しなければ放置することもあります。混濁が進んで一定以上になったとき、霧視や視力低下が徐々に進行します。目薬や飲み薬では混濁の進行を止めることはできませんし、改善させることもできません。レーザーを用いて、水晶体嚢の混濁を切除、切開します。



5. レーザー治療はどのように行われるか？

麻酔薬の目薬をしたあとにレーザー用のコンタクトレンズをつけて行います。通常、痛みはありません。5分から10分程でレーザー治療は終わります。また、まれにレーザーの追加が必要な場合があります。当日は特に安静の必要はなく日常生活に制限はありません。



6. レーザー治療の危険性は？

通常はレーザー治療後、霧視は軽減し、視力は向上します。合併症として網膜剥離（網膜が剥がれる）がおこったり、飛蚊症（虫が飛んでいるように見える状態）がひどくなったり、眼内レンズにキズがついたり位置がずれたりすることがあります。そのような場合は、視力の向上がみられないこともあります。また、まれにレーザーで対応できない場合は硝子体手術により取り除くこともあります。

7. レーザー治療を受けないとどうなるか？

先ほど述べましたように、後発白内障は放置すると水晶体後囊の濁りが少しずつ強くなり、かすみがひどくなり視力低下がおこります。目薬や飲み薬で良くなることはありません。視力低下が進むと日常の生活に支障をきたします。

8. 治療予定日

20____年____月____日

9. 特記事項・その他

以上の通りです。分からないことがあればご質問下さい。以上の内容を納得し、治療を受けることに同意される場合は以下の同意書に署名してください。同意を拒否されても、また一旦同意をした後に撤回されても診療上不利益になることはありません。また、説明の内容についてセカンドオピニオン（他の医療機関の意見を聞くこと）も可能です。

20____年____月____日 午前・午後____時

関西電力病院 _____ 眼 科

説明者

医師 _____

..... _____

同意書

わたしは担当医から レーザー後嚢切開術 に関する以下の事項につき説明を受けました。

1. 病名・病状
2. 治療の名称
3. 治療の目的と適応
4. 治療の方法
5. 治療の危険性と治療に伴う合併症
6. 治療以外の選択肢
7. 治療予定日
8. 特記事項・その他

その内容について、

- 理解しました
- まあまあ理解しました
- 理解できませんでした

セカンドオピニオンを希望されますか？

- 希望します
- 希望しません

検査・治療・手術を受けることについて

- 同意します
- 同意しません

20____年____月____日 午前・午後____時

フリガナ

患者氏名 _____

フリガナ

同席者氏名 _____ 続柄（本人の_____）

患者さまご本人が未成年の場合、判断能力が不十分の状態にある場合、または署名困難な場合には、代理人の方が署名してください。

「私は患者本人に代わり署名します。」

フリガナ

代理人氏名 _____ 続柄（本人の_____）